

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	日本建築史						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	選択必修科目(建築工学コース) 選択必修科目(建築コース) 選択必修科目(デザインコース)						
担当者	川上 秀人						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代から近世までの寺院建築と神社建築の流れを知る。(B5)</li> <li>・構造と意匠の関係を理解する。(B5)</li> </ul>						
日程と内容	4/9 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 4/16 時代区分・竪穴住居 4/23 高床住居 4/30 古代の神社建築 1 5/7 古代の神社建築 2 5/14 古代の寺院建築 1 5/21 古代の寺院建築 2 5/28 平城京・平安京 6/4 阿弥陀堂建築 6/11 中世の寺院建築 1 6/18 中世の寺院建築 2 6/25 中世の神社建築 7/2 北山文化・東山文化 7/9 城郭建築 7/16 茶室建築 7/23 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代から近世までの寺院建築と神社建築の流れを知る。(B5)：達成した</li> <li>・構造と意匠の関係を理解する。(B5)：達成した</li> </ul>						
反省点	翌週、翌々週の授業内容を提示して、自己学習の目標を定め、予習を兼ねた全5回のレポートを課した。レポートの内容は細かくチェックし、合格点に達しないものは何度でも手直しをさせた。しかし、それらが成績には反映されていないようなので、学生は自宅学習をほとんどしていないと思われる。						
来年度の計画	昨年度よりも合格率はかなり下がった。自宅学習をしっかりとるように、レポート課題を与えて学習の目標を明確にする。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.2で、全科目の平均値とほぼ同じである。1年生は授業評価が全体的に厳しいが、静かな授業環境を保ったことは高く評価されている。ノートをとる学生は少なく、それが成績に表れたと思われる。明らかに自己学習の不足である。						
履修登録者数	93名	定期試験 受験者数	81名	合格者数	63名	合格率	78%